

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期上島町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

愛媛県越智郡上島町

3 地域再生計画の区域

愛媛県越智郡上島町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の人口は、昭和25年（1950年）の15,552人（旧4町村合算）をピークに減少に転じ、住民基本台帳月報によると、令和7年（2026年）11月末現在には5,948人となり、ピーク時の半分以下となっている。

年齢3区分別の人口動態をみると、平成16年（2004年）の旧4町村合併後では、年少人口は平成16年（2004年）の727人をピークに減少し、令和7年（2025年）には382人となった。老年人口は増加が続いていたが、平成29年（2017年）の3,172人をピークに減少に転じ、令和7年（2025年）には2,865人となっている。また、生産年齢人口も平成16年（2004年）の4,798人をピークに減少傾向にあり、令和7年（2025年）には2,838人となっている。

自然動態をみると、平成16年（2004年）の旧4町村合併後では、出生数は平成18年（2006年）の42人をピークに減少し、令和6年（2024年）には20人となっている。その一方で、死亡数は令和6年（2024年）には118人となっており、出生者数から死亡者数を差し引いた自然増減は▲98人（自然減）となっている。

社会動態をみると、平成29年から令和4年（2022年）まで社会減が続いていたが、令和5年（2023年）には12人の社会増に転じ、令和6年（2024年）にも0人となっており人口減少に一定の歯止めがかかっている。

国立社会保障・人口問題研究所が示した推計結果によると、今後も人口減少は続き、令和27年（2045年）には3,690人となることが予測され、人口が減少していくと、地域コミュニティの維持、学校等教育機関の維持、産業や伝統行事等

の維持ができなくなることが懸念されている。

本町は 25 の離島のみで構成されており、島ならではの自然の恵みやロケーション、歴史文化・営み、暮らしがある。また、都会と比べて時間の流れがゆったりしていて、自らの趣味や家族・友人との時間を大切にできる幸せな環境が整っている。そんな「島」であることの強みを活かし、希望を持って働ける環境づくりや新たなチャレンジを応援することで、世代を問わず町民の誰もが輝ける、夢を描き続ける島であることを目指す。

そうした「島を活かし 人が輝く 夢の島」として、未来へ向かう希望と可能性に満ちた持続可能なまちづくりを進めた先にある人口の将来展望の設定として、令和 32 年（2050 年）の人口を 4,000 人以上と展望しており、それを実現させるため、子育て支援及び生活環境の充実や移住・定住促進、地域産業の活性化等に寄与する施策を展開することにより、令和 12 年（2030 年）に 5,600 人を維持、令和 22 年（2040 年）に 4,700 人を維持することを目標とする。

なお、これらに取組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 人と海・山・里が共存するまちづくり
誰もが希望をもって働き、活気あふれるまちづくり
- ・基本目標 2 こどもも大人も学び続けられるまちづくり
歴史・文化を継承し、活かすまちづくり
- ・基本目標 3 誰もが今ある豊かで幸福な暮らしを継続していけるまちづくり
- ・基本目標 4 人が活発に交流し、ふれあいのあるまちづくり

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (令和12年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	商工会会員数	246件	270件	基本目標 1
イ	歴史・文化を継承する活動の参加者数	363人	400人	基本目標 2

イ	町内小中学校を対象とした上島町の歴史・文化に触れる学習支援の回数	0回	各小中学校で 1回	基本目標 2
ウ	幸福度アンケート平均点	6.5点	7.0点	基本目標 3
エ	観光体験プログラム参加者数	386人	550人	基本目標 4
エ	郷土愛指数	令和9年1月に集計予定	70%	基本目標 4

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期上島町まち・ひと・しごと創生推進事業

ア 人と海・山・里が共存するまちづくり事業

誰もが希望をもって働き、活気あふれるまちづくり事業

イ こどもも大人も学び続けられるまちづくり事業

歴史・文化を継承し、活かすまちづくり事業

ウ 誰もが今ある豊かで幸福な暮らしを継続していけるまちづくり事業

エ 人が活発に交流し、ふれあいのあるまちづくり事業

② 事業の内容

ア 人と海・山・里が共存するまちづくり事業

誰もが希望をもって働き、活気あふれるまちづくり事業

【具体的な事業】

・遊休農地再生利用対策事業

・レモン産地育成支援事業

- ・農作物渇水対策事業
- ・上島町チャレンジ応援事業（創業・事業展開）
- ・ゆめしま奨学金制度事業 等

イ こどもも大人も学び続けられるまちづくり事業

歴史・文化を継承し、活かすまちづくり事業

【具体的な事業】

- ・振興対策補助金交付事業
- ・弓削高等学校魅力化プロジェクト
- ・魚島さざなみ留学
- ・弓削商船高等専門学校連携事業
- ・「しまじゅうまるごと博物館」の実施
- ・伝統行事と食文化の調査・記録・発信 等

ウ 誰もが今ある豊かで幸福な暮らしを継続していけるまちづくり事業

【具体的な事業】

- ・空き家・空き地情報バンク制度や空き家活用事業
- ・移住お試し住宅事業
- ・妊婦及び不妊治療の通院時交通費の助成
- ・高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施
- ・景観づくり活動助成 等

エ 人が活発に交流し、ふれあいのあるまちづくり事業

【具体的な事業】

- ・上島観光推進業務
- ・かみじま音楽祭事業
- ・上島町文化財講座・史跡弓削島荘遺跡探訪・散策講座
- ・上島町文化財活用企画展 等

※なお、詳細は、第3期上島町総合戦略のとおり

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

2,000,000千円（令和8年度～令和12年度累計）

⑤ **事業の評価の方法（PDCAサイクル）**

毎年度8月頃各指標の集計を行い、外部有識者による効果検証を行う。評価結果を踏まえ、目標の効果的な実現に向けて必要な計画の見直しや変更を行う。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ **事業実施期間**

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで

6 計画期間

令和8年4月1日から令和13年3月31日まで